

## その他の研究活動

個人研究業績報告（2013年4月1日～2014年3月31日）

### ユニット1

玉木 興慈（龍谷大学短期大学部教授 ユニット1 班長）

#### 論文の部

1. 「往生一定と往生不定」, 『真宗学』第129・130合併号, pp. 291-308, 2014年3月

#### その他

1. 「わたしの正信念仏傷」, 『大乘』, 本願寺出版社, 2013年4月より毎月連載
2. 「現代の人間と宗教・浄土真宗」, 『学びの友42-2』, 中央仏教学院通信教育部, 2013年10月1日

鍋島 直樹（龍谷大学文学部教授 センター長 ユニット1 副班長）

#### 論文の部

1. 「親鸞における生死の出離（上）「生死いづべきみち」の意義」, 『真宗学』129・130合併号, pp. 189-210, 2014年3月
2. 「東日本大震災の死別悲嘆に学ぶ親鸞思想におけるグリーフサポート」, 吉川悟編『対人援助をめぐる実践と考察』, ナカニシヤ出版, pp. 73-82, 2014年3月
3. 「宗教からみた終末期医療」, 日本医師会第13次生命倫理懇談会答申, 日本医師会, 2014年3月

#### 口頭発表の部

1. 「特別対談 行方不明の夫に宛てたラブレター」, 菅原文子（気仙沼市ご遺族）, 聞き手 鍋島直樹, 龍谷大学顕真館, 龍谷大学人間・科学・宗教オープン・リサーチ・センター, 2014年5月27日
2. “A Reflection on Disaster Relief Volunteer by Buddhist Monks, Ministers and Priests in East Japan Great Earth Quake,” with Devotion, September 20, 2013, at Jodo Shinshu Hongwanji-ha Sendai Betsuin, the 10th Pan Pacific Pastoral Care International Conference, the 6th conference of

---

Japan Society of Spiritual Care

3. 「金子みすゞ 死を超えてつづくもの」, 龍谷大学大宮学舎東205教室, 龍谷大学人間・科学・宗教オープン・リサーチ・センター, 2013年11月18日
4. 「悲しみに寄り添う姿勢～対談 気仙沼ご遺族に聞く～」, 滋賀県守山市浄土真宗本願寺派赤野井別院, 「御同朋の社会をめざす運動」野洲組委員会, 2013年7月13日
5. 「東日本大震災の悲しみに寄り添う」, 宮崎市サンフホテルフェニックス, 浄土真宗本願寺派九州地区仏教壮年会連盟, 2013年10月27日
6. 「宮沢賢治「雨ニモマケズ」の心 東日本大震災の東北を訪ねて」, 神戸市立福池小学校, 神戸市教育委員会, 2013年2月28日

#### 新聞

1. 「津波で夫と両親を失った。でも、学ぶものがあつた 恋文大賞受賞者が龍谷大学で講演」, 本願寺新報, 2013年6月20日
2. 「無常は希望に」, 文化時報, 2014年6月5日
3. 「宗旨問わぬ姿勢各国宗教者評価」, 中外日報, 2013年10月1日
4. 「受け入れを評価」, 文化時報, 2013年10月9日
5. 「行方不明の夫に宛てたラブレター「あなたへ」」, 文化時報, 2014年1月1日

#### その他

1. 日本医師会優功賞受賞, 2013年11月
2. 「宮沢賢治 本当の幸せを探して」, 『しあわせ読本』1, pp. 25-29, フェリシモ, 2013年4月
3. 「東日本大震災の東北を訪ねて 悲しみに寄り添う」, ぶっぷメール33号, pp. 1-9, 大阪教区仏教婦人会連盟, 2013年4月
4. 「金子みすゞと仏さま」, 御堂さん10月号, pp. 10-11, 2013年10月
5. DVD製作: 宮沢和樹・鍋島直樹特別対談『宮沢賢治没後80年記念「賢治さん一家の幸せの種まき100年受け継ぐ思い・暮らし・行い」』, 105分, フェリシモ, 2013年9月
6. ラジオ: 京のあつたか丸かじり, KBS京都, 2013年6月16日、23日、2014年1月19日、26日
7. ラジオ: みほとけとともに, 西本願寺, 2013年5月第3週、第4週

黒川雅代子 (龍谷大学短期大学部准教授)

#### 口頭発表の部

1. 「DMORT (ディモート: 災害死亡者家族支援チーム) 研修会・入門編」, 日本ストレスマネジメント学会第12回学術大会・研修会, 日本赤十字秋田看護大学, 2013年7月28日

吾勝常行 (龍谷大学文学部教授)

#### 論文の部

1. 「真宗法座とエンカウンター・グループ—仏教カウンセリングを手掛かりとして」, 吉川悟編『対人援助をめぐる実践と考察』, ナカニシヤ出版, pp. 13-23, 2014年3月20日
2. 「仏教カウンセリングにおける「きく」ことの意義」, 『龍谷大学論集』第482号, pp. 80-103, 2013年10月
3. 「妙好人における無対辞の思想」, 学術大会におけるパネル発表の抄録, 『宗教研究』87巻別冊, pp. 97-98, 2014年3月

---

## 口頭発表の部

1. 「妙好人における無対辞の思想」, 日本宗教学会, 國學院大學, 2013年9月7日

加藤博史 (龍谷大学短期大学部教授)

## 著書の部

1. 『社会福祉の定義と価値の展開』, ミネルヴァ書房, 全237頁, 2013年11月30日

## 口頭発表の部

1. 日本特殊教育大会招待シンポジウム, 明星大学, 2013年8月31日
2. 全国大学人権教育交流会シンポジウム, 大阪市梅田関西学院大学サテライトキャンパス, 2013年9月1日

## 新聞

1. 「この人と話そう」, 京都新聞朝刊, 2013年8月4日
2. 「ひと」, 本願寺新報3138号, 2013年6月

田畑正久 (龍谷大学文学部教授)

## 著書の部

1. 「今を輝いて生きるために」, 樹心社, 全182頁, 2013年5月

## 論文の部

1. 『福祉、看護、医療の現場で求められている仏教』, 『宗学院論集』, pp. 235-266, 2012年3月
2. 『現代医療におけるビハーラ運動 (1)』, 「自照同人」3・4月号 (第75号), pp. 7-12, 2013年
3. 『現代医療におけるビハーラ運動 (2)』, 「自照同人」5・6月号 (第76号), pp. 1-5, 2013年
4. 『現代医療におけるビハーラ運動 (3)』, 「自照同人」7・8月号 (第77号), pp. 7-11, 2013年
5. 『仏教が教える物語』, 「念仏医療者たちの臨床聞法録」, pp. 91-117, ビハーラ医療団編, 自照者出版, 2013年9月

## 口頭発表の部

1. 「死生観と医療」, 第17回日本統合医療学会, 東京都渋谷区日本赤十字大学, 2013年12月21日

## 新聞

1. 「今を生きる」, 大分合同新聞朝刊, 第206回 (2013年1月7日) ~ 第230回 (2013年12月30日), 隔週連続掲載

## その他

1. 「無量寿に輝く」, Moku, vol.258 (9月号), pp. 72-79, 2013年9月

高田文英 (龍谷大学文学部准教授)

## 論文の部

1. 「法然『往生要集』釈書の研究—『料簡』・『略料簡』を中心に—」, 『真宗学』129・130合併号, pp. 329-347, 2104年3月15日

武田 晋 (龍谷大学文学部教授)

## 著書の部

1. 『選択本願念仏集講読』, 永田文昌堂, 全712頁, 2013年7月17日

---

## 論文の部

1. 「親鸞の菩提心理解の一背景」, 『真宗学』 129・130合併号, pp. 251-269, 2014年3月13日

那須英勝 (龍谷大学文学部教授)

## 論文の部

1. 「日本中世社会における専修念仏者の社会性—「七難消滅の誦文」再考—」, 龍谷大学論集483号, pp. 9-25, 2014年3月
2. 「Jōdo Shinshū's Doctrinal Reflection on the Possibility of Children Attaining Birth in the Pure Land (*shōni ōjō*)」, 『真宗学』 第129・130合併号, pp. 23-36, 2014年3月
3. 「ヨーロッパの妙好人と「無対辞」の思想」『宗教研究』 87巻別冊 ([http://jpars.org/journal/bulletin/vol\\_87](http://jpars.org/journal/bulletin/vol_87)), pp. 95-96, 2014年3月

## 口頭発表の部

1. 「Genshin's Discovery of the Easy Way to Receive Confirmation for Enlightenment (*vyākaraṇa*) in the Present Life」, 16th Biennial Conference of the *International Association of Shin Buddhist Studies* (第16回国際真宗学会), University of British Columbia (ブリティッシュコロンビア大学)、カナダ、バンクーバー市, 2013年6月2日
2. 「ものはこころでみるということ」, 第26回DV-XA研究会・総会, 龍谷大学大宮学舎, 2013年8月7日
3. 「ヨーロッパの妙好人と「無対辞」の思想」, 日本宗教学会2013年度学術大会パネル発表 (妙好人における無対辞の思想), 日本宗教学会, 國學院大學, 2013年9月7日

早島 理 (龍谷大学文学部教授)

## 論文の部

1. 「脳死臓器移植再考」, 『真宗学』 第129・130合併号, pp. 31-51, 2014年3月
2. 「仏教的生命観から見た先端医療」, 宗学院論集86, pp. 1-37, 2014年3月
3. 「彼岸への道」, お彼岸秋, pp. 11-20, 2013年9月

## 口頭発表の部

1. 「生き抜く力 死に逝く力」, 長崎労災病院市民フォーラム, 佐世保市アルカスSASEBO, 2013年4月20日
2. 「先端医療と仏教の立場」, 本願寺安居特別講義, 龍谷大学大宮学舎本館講堂, 勸学寮主催, 2013年7月22日/26日
3. 「生き死にのあり方に仏教が果たす役割」, 第36回夏季特別仏教公開講演会, 宮崎県西導寺, 2013年6月16日

## 新聞

1. 「仏教の生死観・生命観とiPS細胞」, 中外日報, 2013年4月4日
2. ニッポンの現場 記者がゆく「終末期患者ほほ笑みを求めて」, 大分合同新聞夕刊, 共同通信配信、他に京都新聞 (2014年1月11日) など多数, 2013年12月1日

深川宣暢 (龍谷大学文学部教授)

## 論文の部

1. 「宗教者の役割—災害の苦悩と宗教—」, 龍谷教学第49号, 龍谷教学会議大会におけるシンポジウム

---

記録論文, p. 54, 2014年3月31日

2. 「葬儀の今を考える—あなたはどう見送り、どう見送られますか—」, 龍谷大学大学院実践真宗学研究科紀要第2号, 龍谷大学大学院実践真宗学研究科公開シンポジウム記録, p. 32, 2014年2月28日

#### 口頭発表の部

1. 「宗教者の役割—災害の苦悩と宗教—」, 龍谷教学会議公開シンポジウム, 龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール, 龍谷教学会議, 2013年6月5日
2. 「実践伝道学とチャプレン—人間の苦悩と向き合う仏教の慈悲—」, 龍谷大学人間・科学・宗教オープン・リサーチ・センター国際シンポジウム, 龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール, 2013年9月27日
3. 「現代社会の苦悩に寄り添う—宗教者に求められているもの—」, 龍谷大学大学院実践真宗学研究科公開シンポジウム, 龍谷大学アバンティ響都ホール, 2013年11月21日

坂口幸弘 (関西学院大学教授)

#### 論文の部

1. 「ホスピス・緩和ケア病棟で近親者を亡くした遺族の複雑性悲嘆、抑うつ、希死念慮」, 『Palliative Care Research』8 (2), pp. 203-210, 2013年7月
2. 「ホスピス・緩和ケア病棟で死亡した患者の遺族における遺族ケアサービスの評価とニーズ」, 『Palliative Care Research』8 (2), pp. 217-222, 2013年7月
3. 「悲嘆は病気か? ~ DSM-5と悲嘆の医学化への懸念~」, 『老年社会科学』35 (3), pp. 384-390, 2013年10月

#### 口頭発表の部

1. 「わが国のホスピス・緩和ケア病棟における遺族ケアの現状と課題-この10年間での変化」, 第18回日本緩和医療学会総会, 横浜, 日本緩和医療学会, 2013年6月21日
2. パネルディスカッション: 「看取りの質」, 「「看取りの質」が死別後の悲嘆に及ぼす影響」, 第18回日本緩和医療学会総会, 横浜, 2013年6月22日
3. 「緩和ケア病棟以外で家族が亡くなった遺族へのビリーブメント・ライフレビューの可能性」, 第18回日本緩和医療学会総会, 横浜, 2013年6月21日
4. Bereavement Risk Assessment Tool (BRAT) 「日本語版の実用化に向けたプレテストの実施」, 第26回日本サイコオンコロジー学会総会, 大阪, 2013年9月20日
5. 「ホスピス・緩和ケア病棟における遺族ケアの課題~看護師長及び遺族ケア担当者への面接調査~」, 第37回日本死の臨床研究会年次大会, 松江, 2013年11月3日
6. 「喪失体験者のための絵本製作とその有用性の検証」, 第37回日本死の臨床研究会年次大会, 松江, 2013年11月3日
7. 「葬儀社によるグリーフケアの試み(10)—教育・研修の機会の提供とその効果—」, 第37回日本死の臨床研究会年次大会, 松江, 2013年11月3日

Mark Ty Unno (University of Oregon, Associate Professor, East Asian Religions)

#### 著書の部

1. “Commentary on: ‘Fascicle 30: Gyōji Part II (ge) (Conduct and Observance of Precepts).’” A Commentary on Dogen’s Shushōgi: The Meaning of Practice and Verification. Edited by Jason Wirth, Kosho Itagaki, Bret Davis, & Brian Schroeder.

---

## 論文の部

1. “The Power of Shin Buddhism,” *Metta-Newsletter of the Buddhist Study Center* Honolulu, Hawaii, May/June 2013.
2. Alice Tallmadge, “World Leader in the House: The Dalai Lama filled Matthew Knight Arena” (Autumn 2013), 8-10 (includes description by Mark Unno).

## 口頭発表の部

1. Convener and Respondent, Panel: “Buddhist Self, No-Self, and Narrativity,” American Academy of Religion (AAR) Annual Meeting, Baltimore, Nov 24, 2013.
2. “Buddhist Narrativity in Comparative Context,” Georgetown University, October 23, 2013.
3. Lecturer, “Shin Buddhism,” Barre Center for Buddhist Studies, August 9-11, 2013.
4. Lecture Series, “The Power of Shin Buddhism,” Summer Session, Buddhist Study Center, Honolulu, Hawaii, July 7-16, 2013.
5. Introduction of event, His Holiness the 14th Dalai Lama, Tenzin Gyatso, University of Oregon, May 13, 2013.
6. Lectures and seminars at Buddhist temples including Shin Buddhist temples in Portland, Oregon; Buddhist Temple of Marin, and Enmanji, California; Spokane Buddhist Temple and White River Buddhist Temple, Washington.

## ユニット2

井上善幸 (龍谷大学法学部准教授 副センター長 ユニット2 班長)

### 論文の部

1. 「如来とひとし」という表現をめぐる, 『真宗学』 第129・130合併号, 2014年3月31日

高田信良 (龍谷大学文学部教授 ユニット2 副班長)

### 口頭発表の部

1. 「宗教と科学—脳科学・宗教多元主義の間で何が問われるのか」, 日本宗教学会第72回学術大会, 國學院大學, 2013年9月7日

林 智康 (龍谷大学文学部教授 ユニット2 副班長)

### 著書の部

1. 『浄土和讃 信を勧め疑いを誡める』, 探究社, 全223頁, 2013年4月
2. 『慶華—思い出の記—』 第10号最終号, 「山内慶華財団の思い出」, 探究社, 共著, 2013年5月
3. 『よろこび』 第124号, 「報恩講を迎えて」, 探究社, 共著, 2013年9月
4. 『恒河—新たな始まり～大遠忌を機縁として～』, 「大遠忌法要御正当と改悔批判」, 永田文昌堂, 共著, 2013年9月

### 論文の部

1. 「浄土真宗と妙好人」, 『印度学仏教学研究』 第62巻第2号, p. 8, 2014年3月20日
2. 「浄土真宗と妙好人—無対辞思想との関わり—」, 『宗教研究』 第87巻別冊, p. 2, 2014年3月30日
3. 「浄土真宗における信心と救い」, 『対人援助をめぐる実践と考察』, p. 10, 2014年3月31日
4. 「源信和尚と親鸞聖人」, 『真宗学』 第129・130合併号, p. 30, 2014年3月13日

---

## 口頭発表の部

1. 「浄土真宗と妙好人」, 日本印度学仏教学会第64回学術大会, 島根県民会館, 2013年9月1日
2. 「浄土真宗と妙好人—無対辞思想との関わり—」, 日本宗教学会第72回学術大会, 國學院大學, 2013年9月7日
3. 「セッションNo.8の発表に対するコメント」, 日本佛教学2013年度学術大会, 早稲田大学, 2013年9月13日

杉岡孝紀 (龍谷大学文学部教授)

## 論文の部

1. 「真宗他者論(1)—実践真宗学の原理としての〈他者〉—」, 『真宗学』第129・130合併号, pp. 211-218, 2014年3月

## 口頭発表の部

1. 「チームワークに必要なもの—『歎異抄』の思想から—」, 経営品質セミナー, ヒルトンプラザウエストオフィスタワー (龍谷大学梅田キャンパス), 公益財団法人 関西生産性本部/関西経営品質協議会, 2014年1月

内藤知康 (龍谷大学文学部教授)

## 論文の部

1. 「親鸞における不可思議の意義」, 『真宗学』第129・130合併号, pp. 31-48, 2014年3月

楠 淳澄 (龍谷大学文学部教授)

## 著書の部

1. 『暮らしに生かす唯識』, 探求社, 全79頁, 2013年5月

殿内 恒 (龍谷大学社会学部教授)

## 論文の部

1. 「真宗文献学を考える—教学の基盤として—」, 龍谷大学大学院真宗研究会『真宗研究会紀要』第45号, pp. 61-105, 2013年5月
2. 「『浄土三経往生文類』についての一考察—広略二本の相違を通して—」, 『真宗学』129・130合併号, pp. 271-289, 2014年3月

## その他

1. 「親としての願い」, 一味出版部『一味』733号, pp. 8-11, 2013年9月
2. 日曜公開仏教講座「親鸞の求道」, 芦屋仏教会館, 2013年10月13日

廣田デニス (龍谷大学文学部教授)

## 著書の部

1. *Ways of the Spirit: Celebrating Dialogue, Diversity, & Spirituality*. “The Way of Shinran.” Kitchener, ONT: Pandora Press, pp. 36-44, 2013
2. *The Handbook of Christianity in Asia* “Christian Tradition in the Eyes of Asian Buddhists: The Case of Japan.” Oxford University, 24 June 2014
3. *Dao Companion to Japanese Buddhist Philosophy* “How to Read Shinran.” Springer, 55pages, 1st

---

July 2013.

**論文の部**

1. “Shinran and Heidegger on Dwelling: Reading Shinran as a Phenomenology of *Shinjin*.” *Contemporary Buddhism: An Interdisciplinary Journal* (Routledge), 2014

**Janet Gyatso** (Harvard University, Divinity School, Hershey Professor of Buddhist Studies)

**著書の部**

1. “*Being Human in a Buddhist World: Towards an Intellectual History of Medicine in Early Modern Tibet.*” Columbia University Press.

**関連業績**

**阿部美香** (昭和女子大学非常勤講師)

1. 「富士の行者としての唯念一義賢行者・妙心行者・妙善尼との関わりから一」, 昭和女子大学文学史学会『昭和女子大学文化史研究』第17号, pp. 1-14, 2013年3月15日  
※人間・科学・宗教オープン・リサーチ・センターの成果をご紹介します。